

算数オンライン塾 12月3日の問題 解説

(解説)

(1) $AF=FE$ ですから、 $EF+FD=AF+FD=16\text{cm}$ です。 $ED=8\text{cm}$ ですから、合計 24cm です。

(答え) 24cm

(2) 四角形 $EFGD$ の面積は四角形 $ABGF$ と同じです。

したがって五角形 $EFGCD$ の面積が 88cm^2 ということは四角形 $ABGF$ と三角形 GCD の面積の合計も 88cm^2 ということになります。

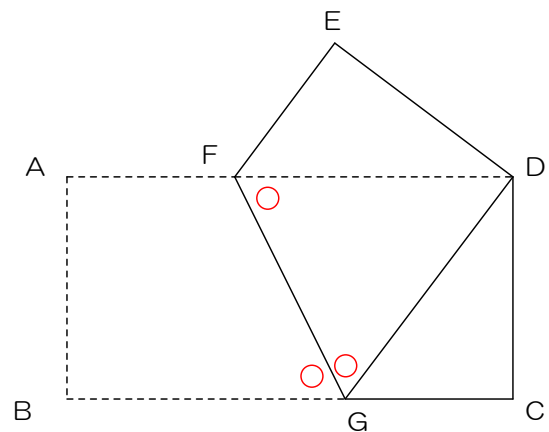
三角形 FGD の面積は $16 \times 8 - 88 = 40\text{cm}^2$ になります。

(答え) 40cm^2

(3)

右図で角 DFG と角 FGB は錯角で等しく、また B が D に重なることから角 FGB と角 FGD が等しいことから、角 DFG と角 DGF は等しい。したがって三角形 DFG は $FD=DG$ となる二等辺三角形です。 $FD=40 \times 2 \div 8 = 10\text{cm}$ ですから、 $GD=10\text{cm}$ です。

(答え) 10cm



(4) EF の長さは $16-10=6\text{cm}$ ですから、
三角形 EGD : 三角形 $EFG = 10 : 6 = 5 : 3$

したがって $5 \div 3 = 1 \frac{2}{3}$ 倍

(答え) $1 \frac{2}{3}$ 倍